

令和6年度

# 事業概要

令和6年4月

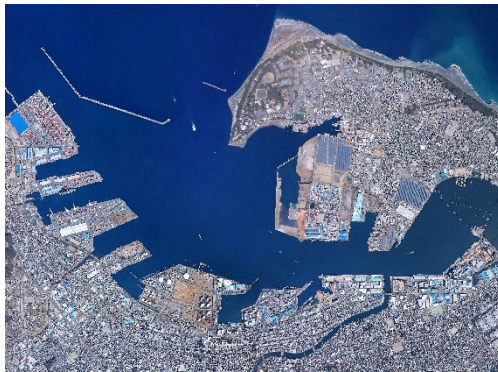
国土交通省 中部地方整備局  
清水港湾事務所

# 清水港湾事務所管内の港湾

## 港湾位置図

- 国際拠点港湾
- ◎ 重要港湾
- 地方港湾

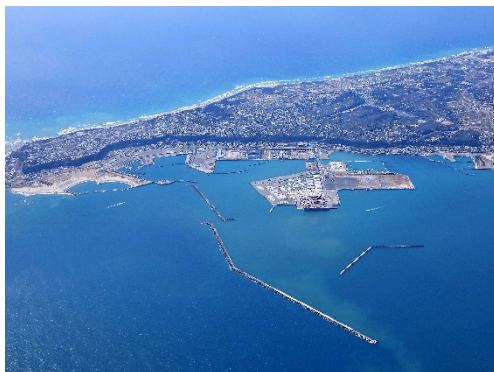
- 港湾所在市町
- 港湾区域



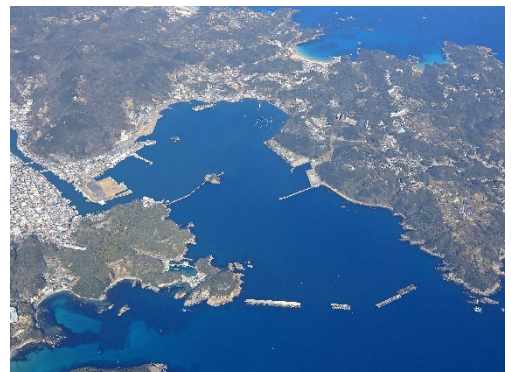
清水港 (国際拠点港湾)



田子の浦港 (重要港湾)



御前崎港 (重要港湾)



下田港 (地方港湾・避難港)

## ■ 令和6年度 清水港湾事務所 事業概要

### 1. 個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

地方の暮らしや経済成長を支え、地域の個性をいかにしながら地方を活性化するとともに、東京一極集中から脱した分散型国づくりを推進します。

- 地域の基幹産業の競争力強化 : 清水港 新興津地区 岸壁延伸

### 2. 国民の安全・安心の確保

激甚化・頻発化する風水害や切迫する大規模地震等に屈しない強靱な国土づくりを推進するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を含むハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策を重点的かつ集中的に講じます。

- 防波堤の「粘り強い」構造への改良 : 清水港 外港防波堤 改良  
: 御前崎港 防波堤(A) 改良
- 船舶の避難水域の確保、地震津波対策 : 下田港 防波堤整備
- 港湾施設の老朽化対策 : 清水港 富士見地区 岸壁改良  
: 御前崎港 袖師地区 岸壁改良
- 台風・高潮等に対する航路保全対策 : 田子の浦港 女岩地区 岸壁改良  
: 田子の浦港 港口部ポケット整備

## ■ 令和6年度 事業費及び事業内容

(単位：百万円)

港名	事業費	事業内容
清水港	1,843 (1,058)	新興津地区 岸壁(延伸) ※5か年加速化対策含む 外港防波堤(粘り強い化) ※5か年加速化対策含む 富士見地区 岸壁(改良) ※5か年加速化対策含む 袖師地区 岸壁(改良) ※5か年加速化対策含む
田子の浦港	196 (0)	航路泊地
御前崎港	630 (150)	防波堤(A)(粘り強い化) 女岩地区 岸壁(改良) ※5か年加速化対策含む
下田港	366 (591)	防波堤 ※5か年加速化対策含む
合計	3,035 (1,799)	

( ) 書きは、令和5年度補正予算(外数)

# ■ 各港の事業内容

## 【清水港】



＜清水港の事業箇所＞

### ①新興津岸壁の延伸

近年のパルプ輸入量増加や、船舶の大型化により岸壁利用に混雑が生じています。こうした課題に対応するため、岸壁を200m延伸する工事を進めます。

### ②外港防波堤の改良

大規模地震・津波による防波堤の倒壊を防ぐため、「粘り強い構造」※への改良工事を進めます。

### ③富士見岸壁の改良

老朽化対策にあわせて、大型の穀物運搬船等が着岸する老朽化岸壁の改良工事を進めます。

### ④袖師岸壁の改良

国内RORO船が利用する主要岸壁である袖師8号岸壁では、供用から40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。そのため、嵩上げしつつトラックやトレーラー等が安全にRORO船に乗り降りできるよう、岸壁の老朽化対策工事を進めます。

岸壁延伸箇所：



＜新興津岸壁延伸事業の概要＞

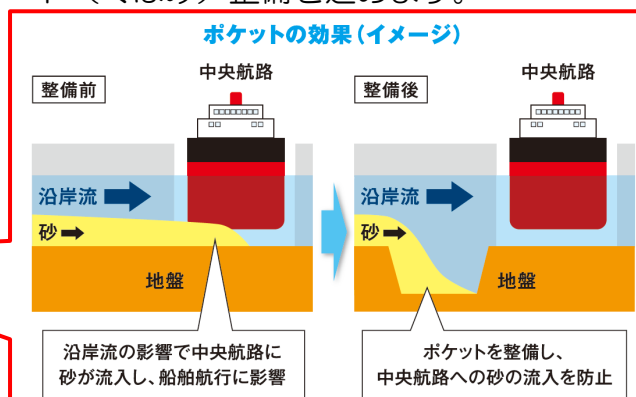
## 【田子の浦港】



＜田子の浦港の事業箇所＞

### ①ポケットの整備

西からの沿岸流で運ばれる砂の航路内への流入・堆積を防止し、港の安全かつ安定的な利用を確保するため、港口部のポケット（くぼみ）整備を進めます。



## 【御前崎港】



＜御前崎港の事業箇所＞

### ①防波堤（A）の改良

大規模地震・津波による防波堤の倒壊を防ぐため、「粘り強い構造」※への改良工事を進めます。

### ②西埠頭岸壁の改良

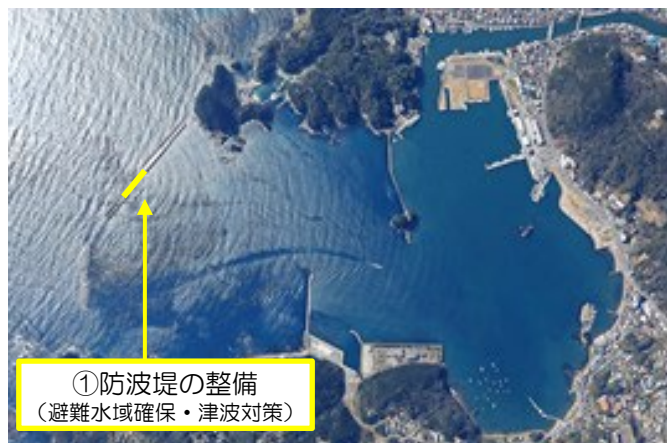
大型自動車運搬船等が安全かつ安定的に利用できるように、岸壁の老朽化対策工事を進めます。

### ①防波堤の整備

下田沖は海上交通の要衝であり、気象・海象条件が厳しい難所としても知られています。このため、下田港は、荒天時の船舶の避難場所として利用されてきました。

船舶が安全に避難できる静穏な水域を確保するとともに、東海地震などによる津波から市街地を防護するため、防波堤の整備を進めます。

## 【下田港】



＜下田港の事業箇所＞

### （※）「粘り強い」構造

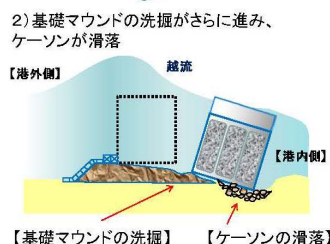
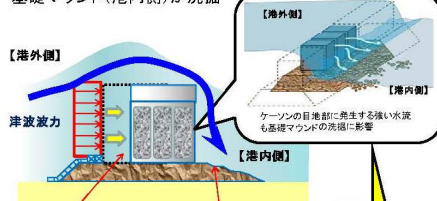
東日本大震災では、津波により防波堤が倒壊し、その後、長期にわたり港湾荷役に影響が生じました。

静岡県でも、大規模地震に伴う大きな津波が発生することが想定されています。

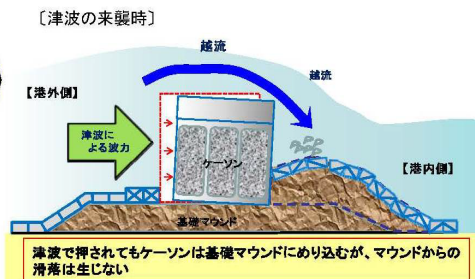
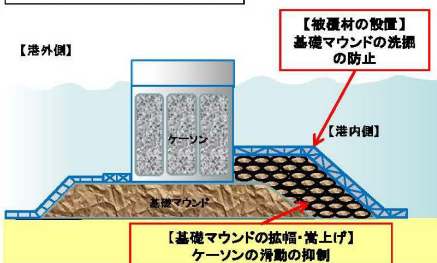
清水港湾事務所では、100年から150年周期で発生している東海地震など、比較的発生頻度の高い津波を超える大きさの津波が発生した場合でも、防波堤の効果が粘り強く発揮できるように、防波堤の改良を進めています。

#### 通常の防波堤 (津波による被災のメカニズム)

1) 津波外力によりケーソンが滑動し、越流により基礎マウンド(港内側)が洗掘



#### 粘り強い構造の防波堤



対策の実施  
(粘り強い構造)

## 国土交通省 清水港湾事務所

〒424-0922 静岡市清水区日の出町7番2号  
TEL: 054 (352) 4146 (代表)  
FAX: 054 (353) 3072  
E-mail (代表) pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp  
ホームページ <https://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp/>



## 御前崎港事務所

〒437-1623 御前崎市港6170  
TEL: 0548 (63) 4840  
FAX: 0548 (63) 4826



## 田子の浦港事務所

〒417-0015 富士市鈴川1-2  
田子の浦港湾合同庁舎1階  
TEL: 0545 (32) 1125  
FAX: 0545 (32) 1127



## 下田港事務所

〒415-0023 下田市三丁目18番地25号  
TEL: 0558 (23) 1208  
FAX: 0558 (23) 4249

